

23  
王  
聖徒伝 244

# 心に刻むは 義と愛の 主の御言葉

エレミヤ書 23章

ダビデの一つの正しい若枝

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. 真実の王なるメシア 23:1～9

II. 偽預言者の罪 23:10～23

III. 偽預言者の裁き 23:24～29

### IV. まとめと適用

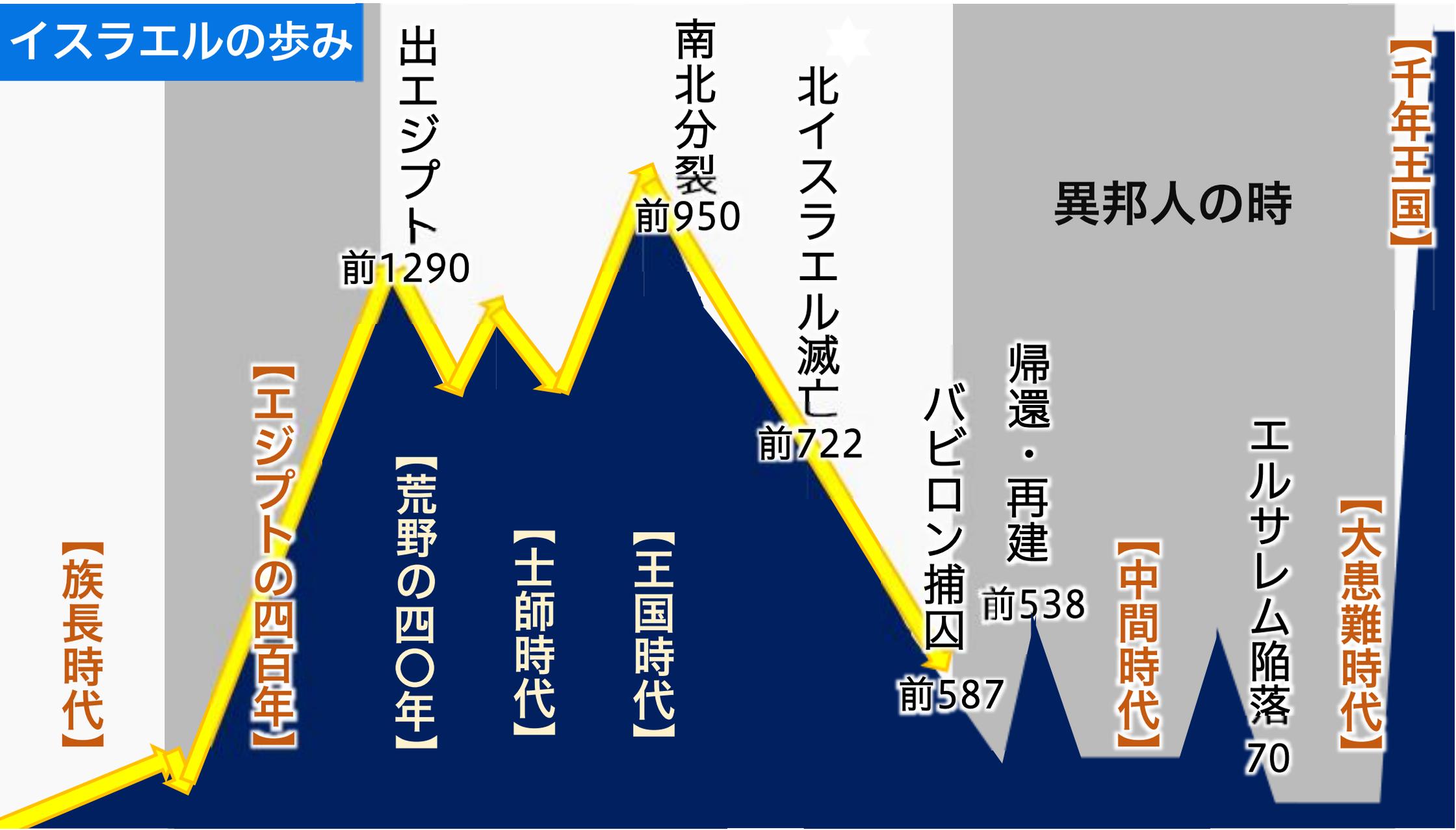
義と愛の主のことばを受け取ろう



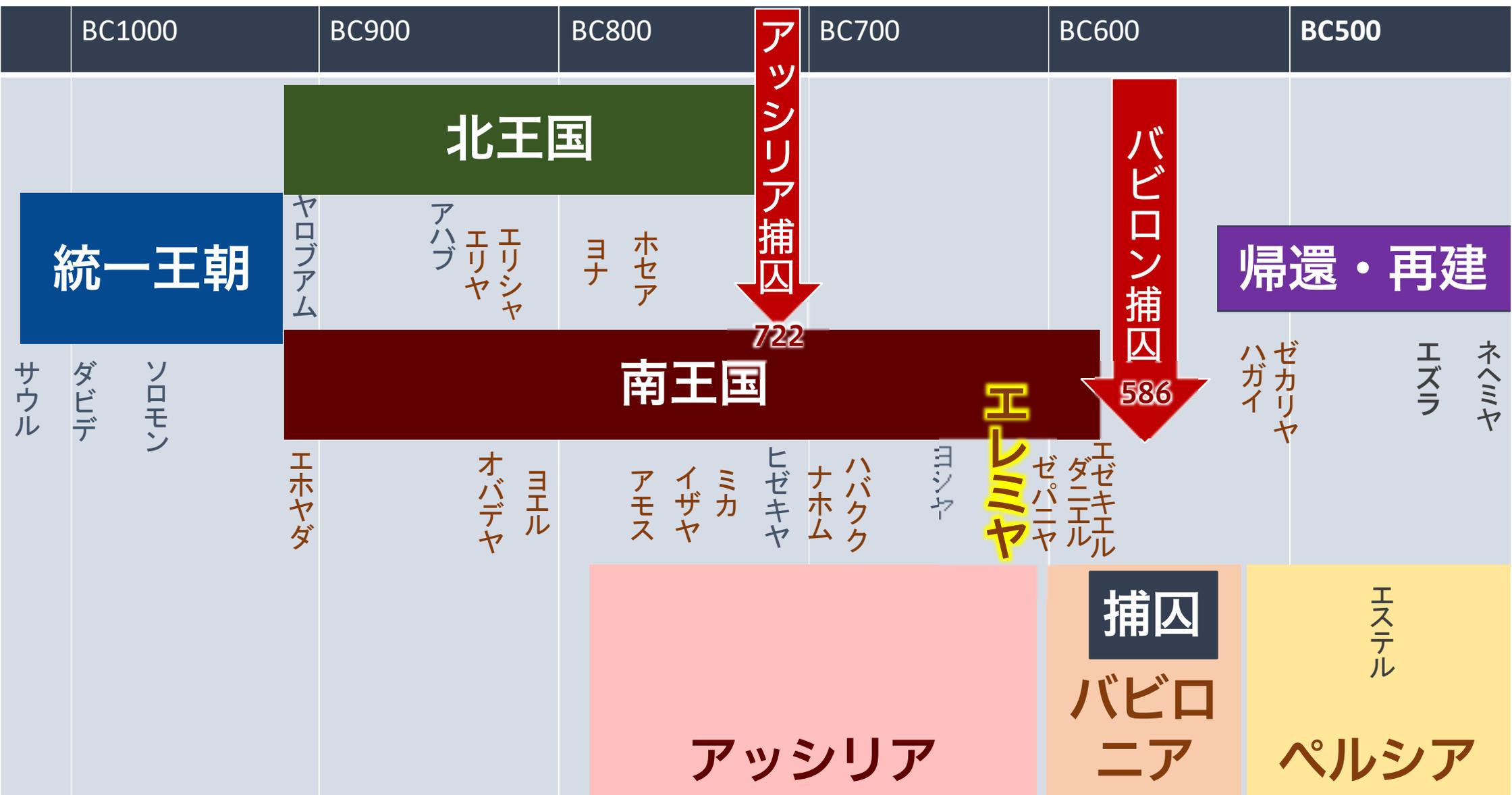


## 0. イントロダクション

# イスラエルの歩み



# イスラエル王国史



イスラエル 北王国

アッシリア捕囚  
BC722年

南王国 ユダ



ヒゼキヤ ♡  
29年

マナセ ☠  
55年

イザヤ

ミカ

エレミヤ(召命前)

エレミヤ 45年

ハバクク

ゼパニヤ

アモン ☠  
2年

エホアハズ  
3ヶ月

ヨシヤ ♡  
31年

エホヤキム ☠  
11年

エホヤキン ☠  
3ヶ月

ゼデキヤ ☠  
11年

バビロン捕囚 ①  
バビロン捕囚 ②

バビロン捕囚 ③

## エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚



キリスト



⑱エホヤキン (エコンヤ) 18歳～(3ヶ月)



⑱エホヤキム 25歳～(11年)

エジプトで死



⑳エホアハズ(シャルム) 23歳～(3ヶ月)

バビロンで死

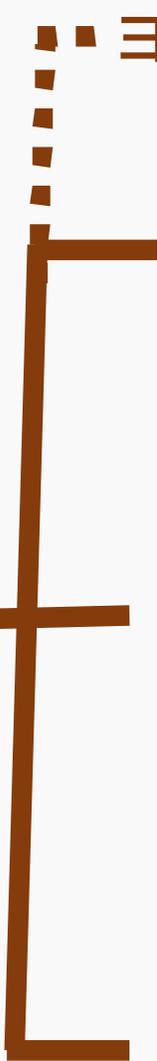


㉑ゼデキヤ 21歳～(11年)

第三次捕囚



⑯ヨシヤ 8歳～(31年)



## 「主のことば」

■ イスラエル指導者(王、祭司、預言者)への「主のことば」

“ネフーム・ヤハウエ” = “ヤハウエのことば(御告げ)”

■ 聖書全体で、219/488回が、エレミヤ書。4割!!

エレミヤ書23章は、最多の16回!!

ここにきて告げられる、ダビデの若枝なるメシア



# Ⅰ. 真実の王なるメシア

エレミヤ書23章1～8節

## 御告げ

## 偽牧者 エレミヤ23:1

「わざわいだ\*。わたしの牧場の群れを滅ぼし散らしている牧者たち\*——【主】のことば①。」

\*“ああ(第三版)”…悲嘆の言葉

\*イスラエルの指導者たち

…王、祭司、宗教指導者etc

■指導者たちは、羊である民を牧するどころか散らしている。



## 御告げ

## 偽牧者への裁き エレミヤ23:2

それゆえ、イスラエルの神、【主】は、私の民を牧する牧者たちについてこう言われる。「あなたがたはわたしの群れを散らし、これを追散らして顧みなかった\*。見よ、わたしはあなたがたの悪しき行いを罰する——【主】のことば②——。」

■私利私欲にまみれ、民には無関心で、その苦難も一顧だにしなかった指導者たち。



## 御告げ

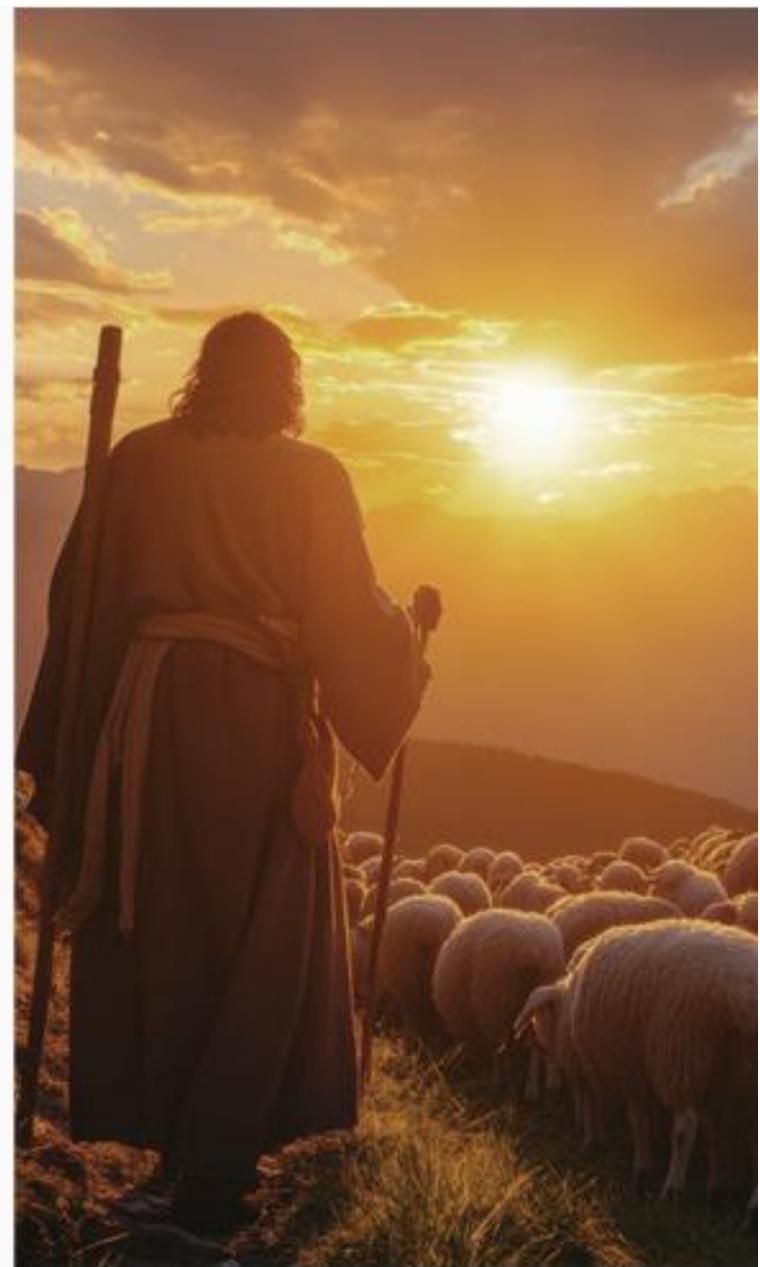
## 主の牧者たち エレミヤ23:3

しかしわたしは、わたしの群れの残りの者\*を、わたしが追い散らしたすべての地から集め、元の牧場に帰らせる。彼らは多くの子を生んで増える。

わたしは彼らの上に牧者たち\*を立てて、彼らを牧させる。彼らは二度と恐れることなく、おびえることなく、失われることもない——  
【主】のことば③。

\*イスラエルの残れる信仰者(レムナント)

\*主に仕える牧者たち



## 御告げ

## 真実の王 エレミヤ23:5～6

見よ、その時代が来る。——【主】のことは④——そのとき、わたしはダビデに一つの正しい若枝\*を起こす。彼は王となって治め、栄えて、この地に公正と義を行う。

彼の時代にユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。『【主】は私たちの義』。それが、彼の呼ばれる名である。」

\*ダビデの子孫に誕生するメシア

「エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。イザヤ11:1」



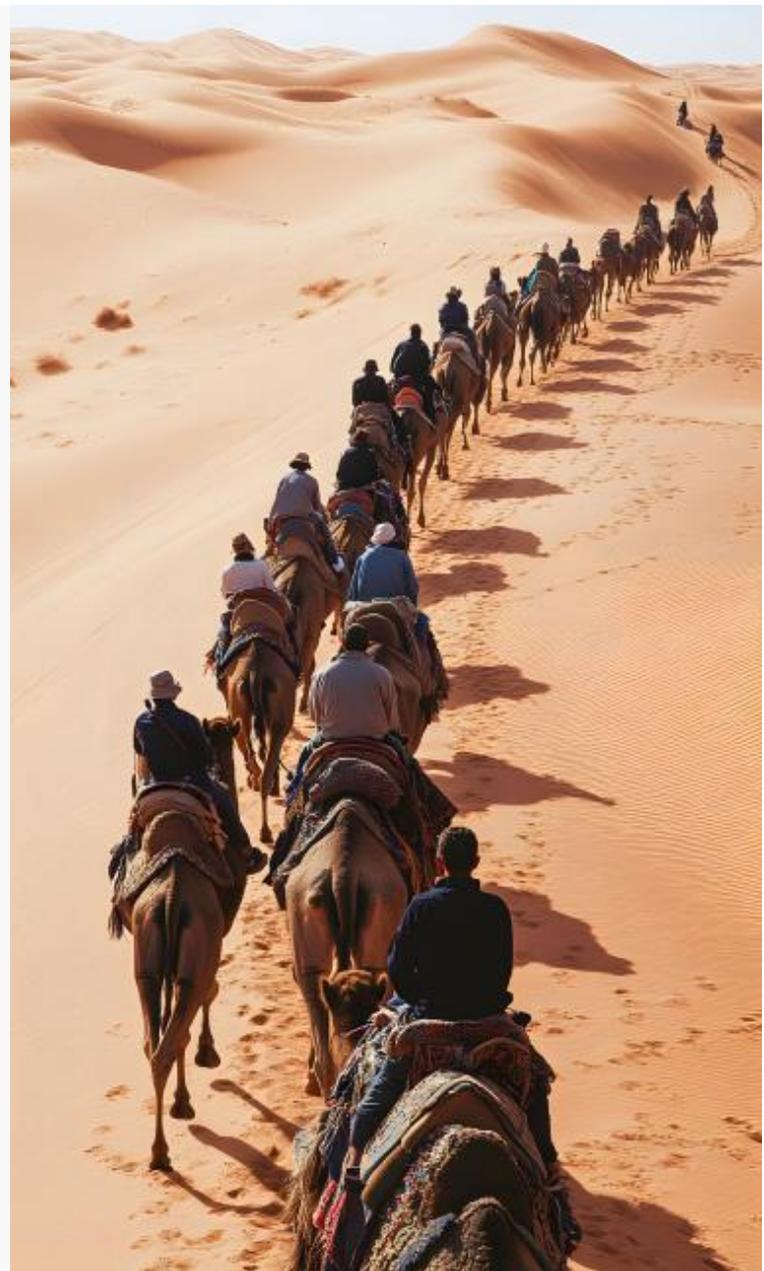
## 御告げ

## 回復の時 エレミヤ23:7~8

それゆえ、見よ、その時代が来る——【主】  
の**ことば**⑤——。そのとき、もはや人々は  
『イスラエルの子らをエジプトの地から上ら  
せた【主】は生きておられる』と言うことは  
なく、『イスラエルの家の末裔を、北の地や、  
彼らが散らされていた**すべての地**から上らせ  
た【主】は、生きておられる\*』と言って、  
自分たちの土地に住むようになる。」

\*イスラエルの完全な帰還

➡メシアが建てられる神の国(千年王国)





## II. 偽預言者の罪

エレミヤ書23章9～17節

ユダの荒野

## 御告げ

## 酔いどれのように エレ23:9~10

預言者たちについて——私の心は、うちに砕かれ、私の骨はみな震える。私は酔いどれのように、ぶどう酒に負けた男のようになった。

【主】と、主の聖なることばのために。地が姦通する者で満ちているからだ。地はのろわれて喪に服し、荒野の牧場は乾ききる。彼らの走る道は悪で、その力は正しくないことに使われる。

■ 主の裁きの宣告の厳しさに、震えるエレミヤ。

神に背ききったイスラエルの罪の恐ろしさ



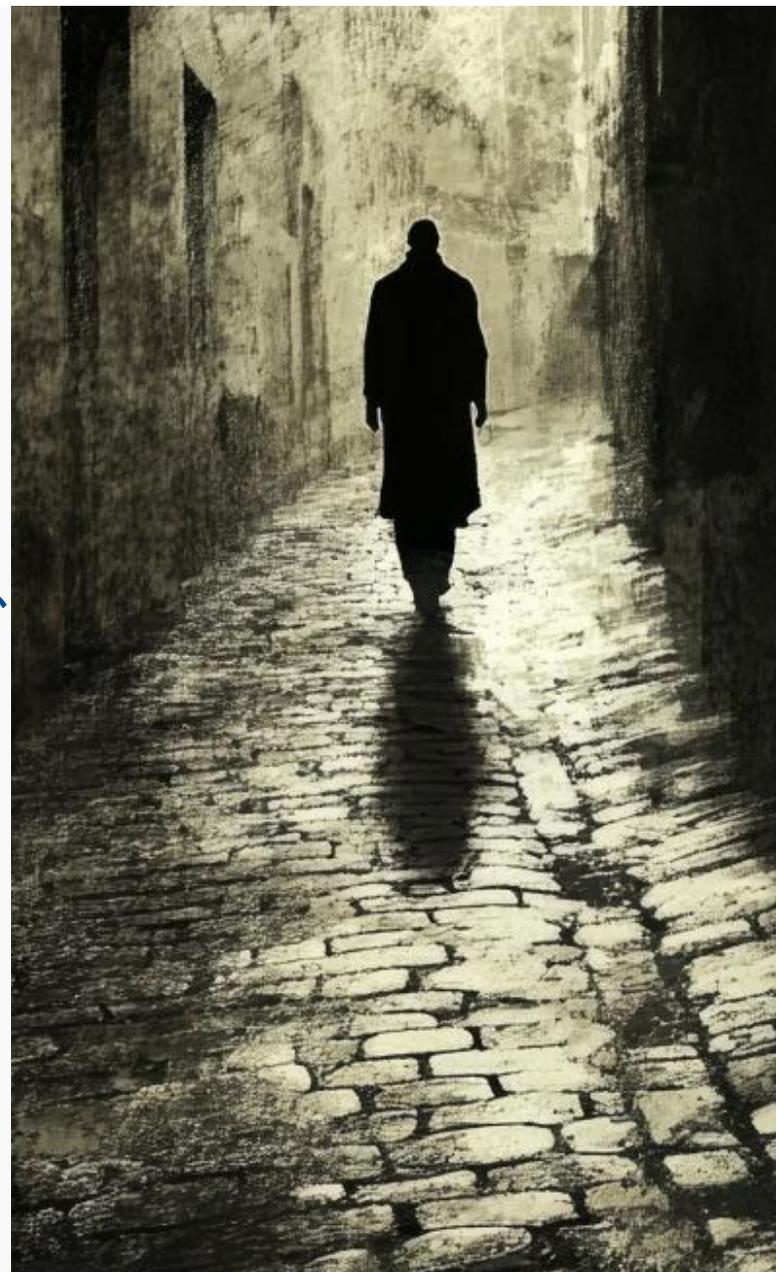
## 御告げ 偽預言者・偽祭司 23:11~12

「実に、預言者も祭司も汚れている。わたしの家\*の中にも、わたしは彼らの悪を見出した。——【主】のことば⑥——

それゆえ、彼らの道は、暗闇の中の滑りやすい場所のようになり、彼らは押しやられて、そこに倒れる。わたしが彼らにわざわいをもたらし、刑罰の年\*をもたらすからだ。——【主】のことば⑦——

\*エルサレムの神殿

\*エレミヤのみの表現(11:23,48:44)



## 御告げ サマリアの預言者 エレ23:13

サマリア\*の預言者たちの中に、わたしはごまかしを見た。彼らはバアルによって預言し、わたしの民イスラエルを迷わせた。

\*すでに滅んだ北王国の都がサマリア

■バアルをはじめとする偶像が国教に!!

王も預言者も祭司も偶像に仕えた!!

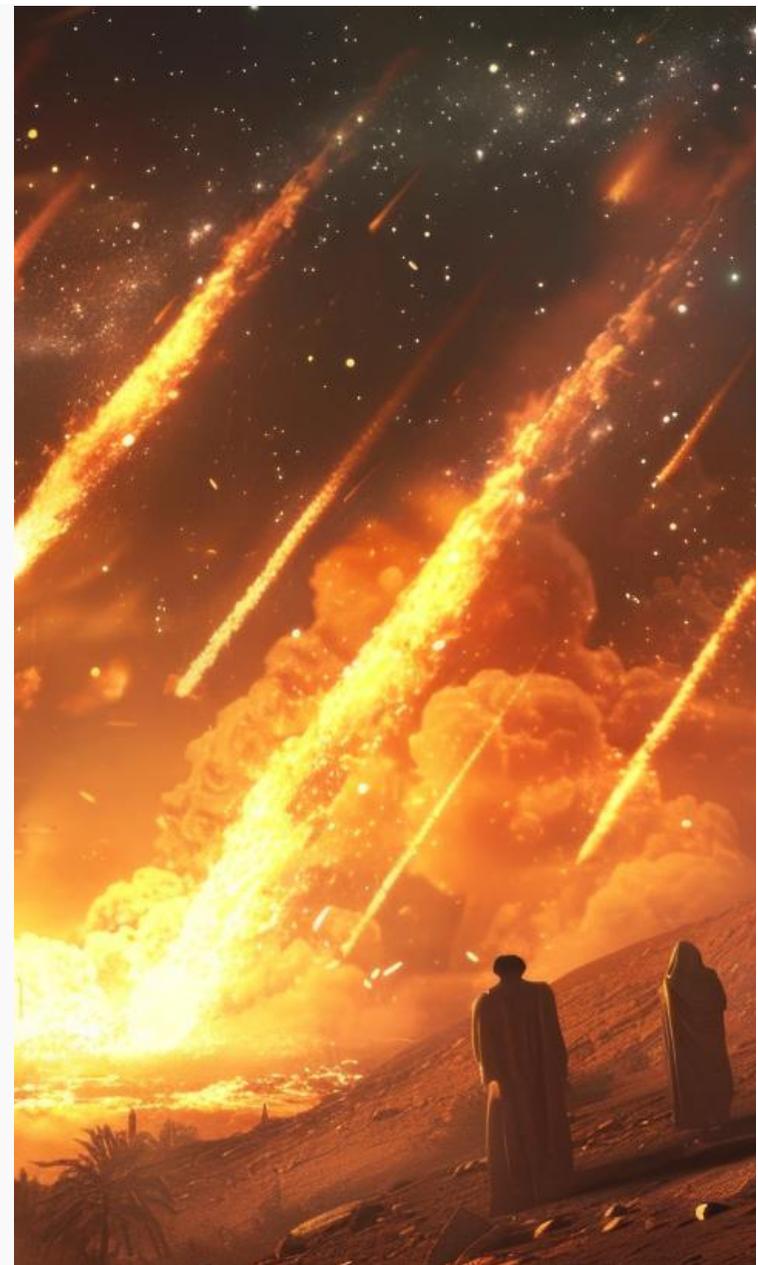


## 御告げ

## 偽預言者の罪 エレミヤ23:14

エルサレムの預言者たちの中に、わたしはおぞましいことを見た。彼らは姦通し、嘘をついて歩き、悪を行う者どもの手を強くして、その悪から、だれも立ち返らせない。彼らはみな、わたしにはソドムのようにであり、その住民はゴモラのような。」

- 偽預言者によって墮落した南王国ユダは、天の火によって滅ぼされたソドム、ゴモラのような、直接の神の裁きの対象に!!



## 御告げ

## 毒の水 エレミヤ23:15

それゆえ、万軍の【主】は、預言者たちについてこう言われる。「見よ。わたしは彼らに、苦よもぎ\*を食べさせ、毒の水を飲ませる。不敬虔がエルサレムの預言者たちから出て、全土に広がったからだ。」

\*罪の結果生じる苦みの象徴

➔自らの罪の刈り取りをさせられる

■偽預言者に従った罪の結果が、

神の厳しい裁き



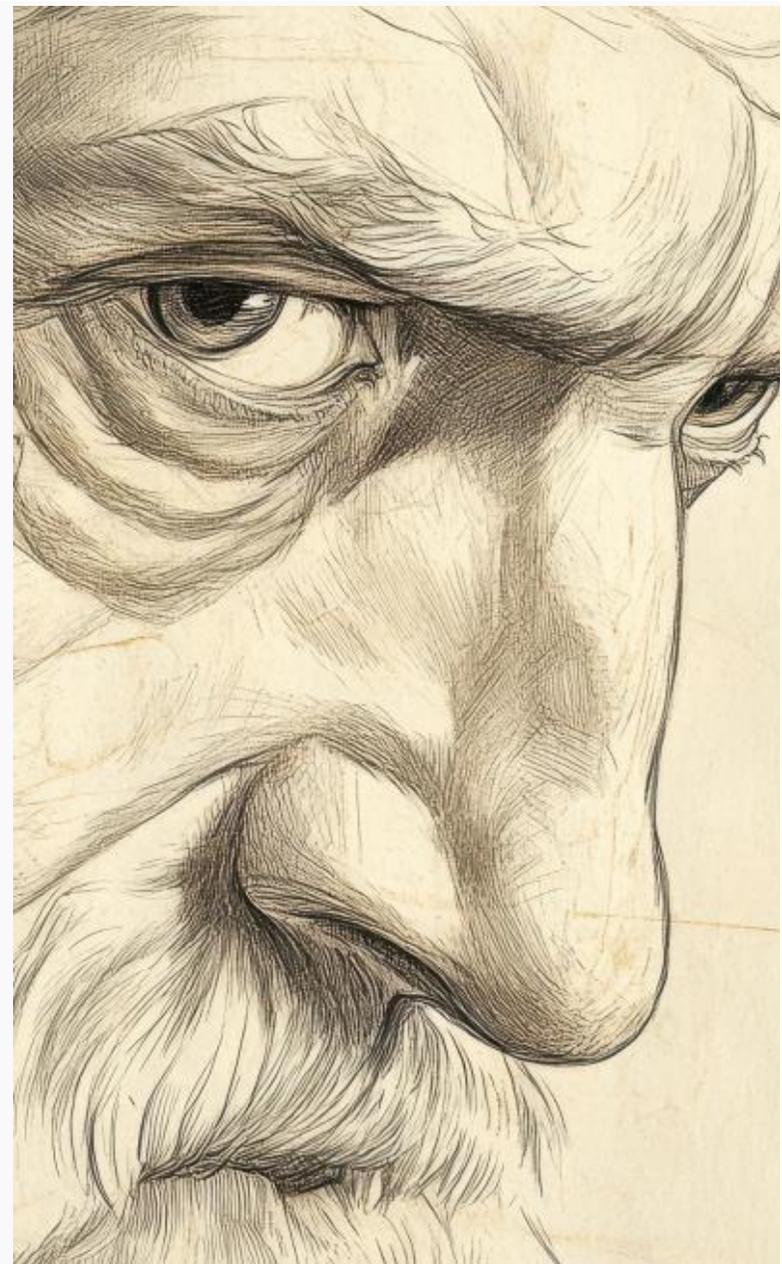
## 御告げ

## 自分の心の幻 エレミヤ23:16

万軍の【主】はこう言われる。「あなたがたに預言する預言者たちのことばを聞くな。彼らはあなたがたを空しいものにしようとしている。彼らは【主】の御口からではなく、自分の心の幻を語っている。」

■ 偽預言者が語るのは、主の言葉ではなく、己の願望から生まれた、心に浮かぶ幻。

➡ 背後に働いているのは、  
神とは真逆の悪の力



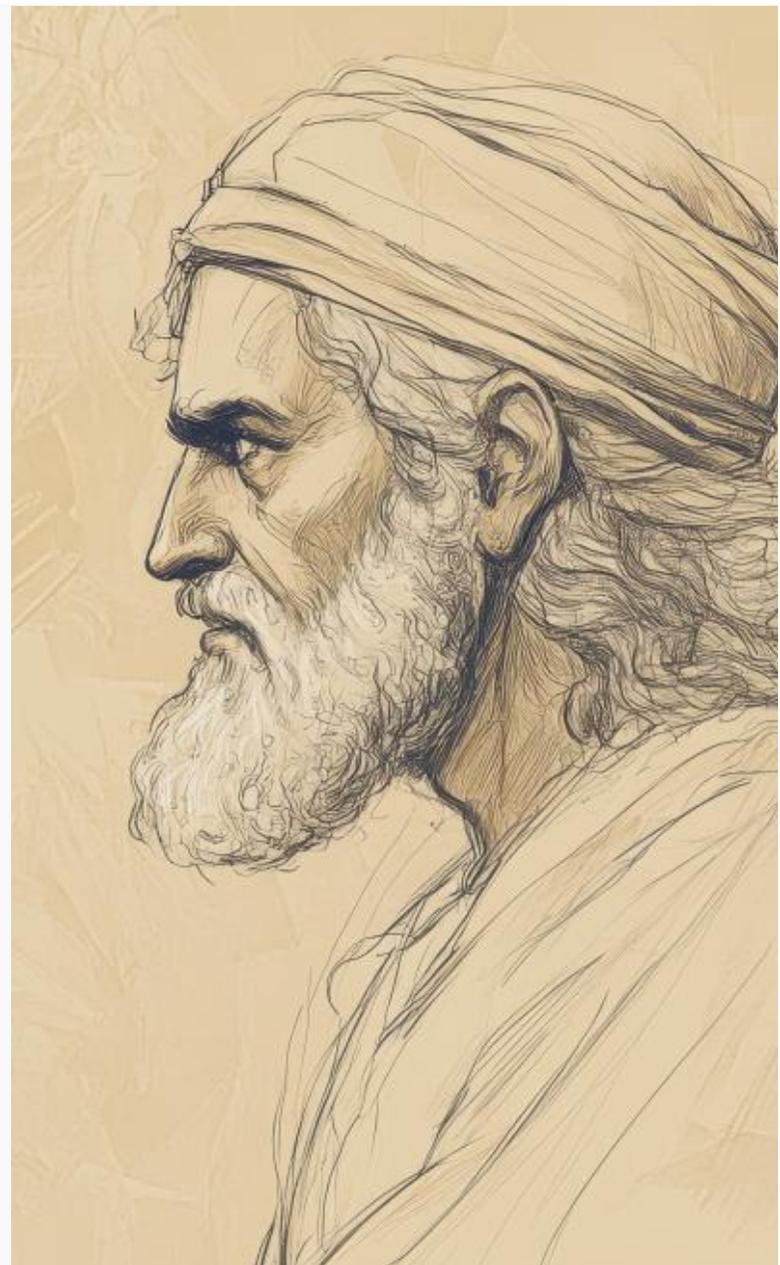
## 御告げ

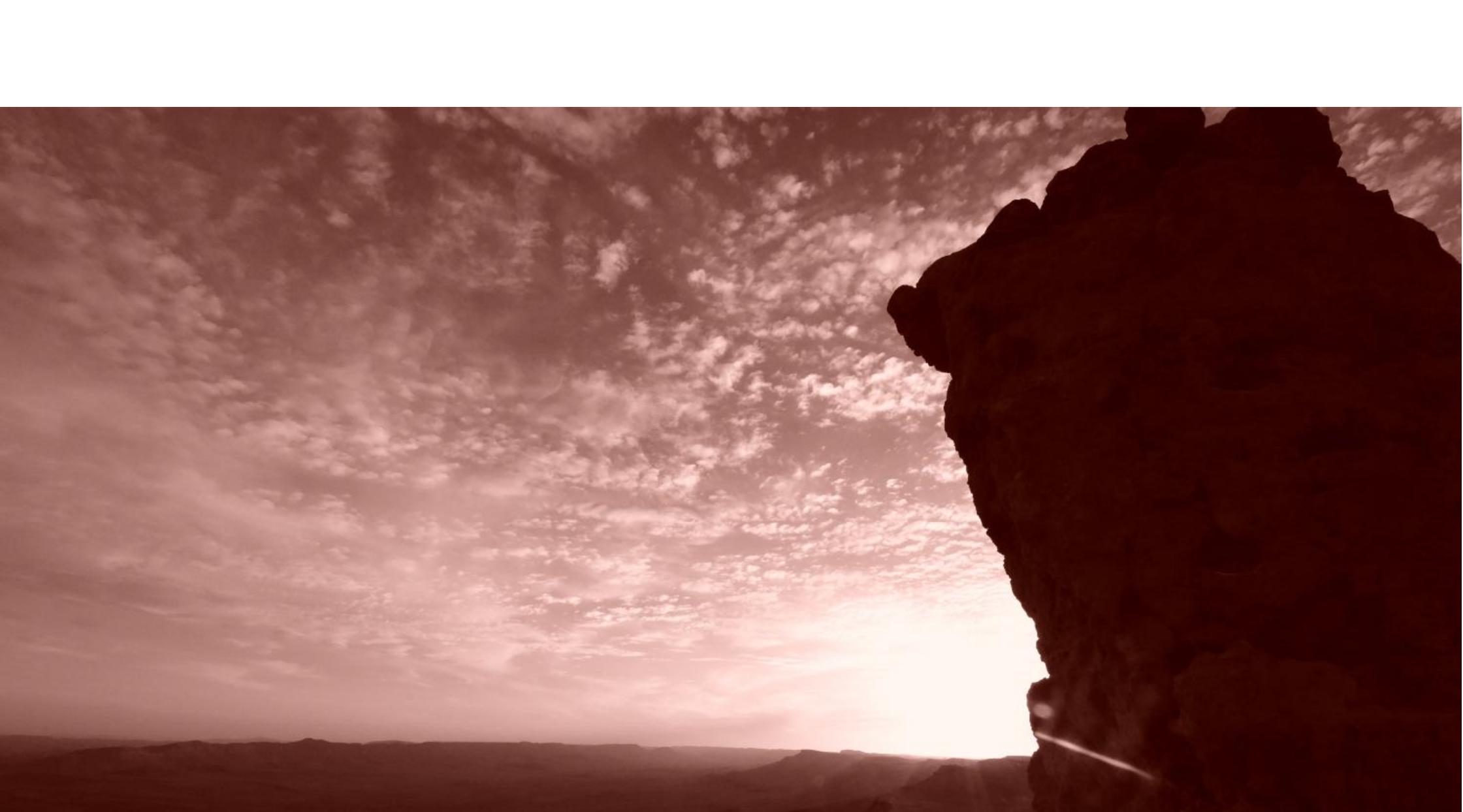
## 偽預言 エレミヤ23:17

「彼らは、わたしを侮る者に向かって、  
『【主】はあなたがたに平安があると告げられた』としきりに言い、頑なな心のままに歩むすべての者に向かって、『あなたがたにはわざわざ来ない』と言っている。」

- 偽預言者の言葉は、不信仰者の心に響く。  
耳に心地よいことだけを巧みに語るから。

**偽預言者と不信仰者は一蓮托生**





### Ⅲ. 偽預言者の裁き

エレミヤ書23章18～40節

ユダの荒野

## 御告げ

## 主の憤り エレミヤ23:18~19

しかし、だれが、【主】との親しい交わりに加わり、主のことばを見聞きしたか。だれが、耳を傾けて主のことばを聞いたか。

見よ。【主】のつむじ風が憤りとなって出て行く。荒れ狂う暴風が悪者の頭上で荒れ狂う。

- こぞって主に背いたイスラエルに、怒る神の裁きが迫る。



## 御告げ

## 主の怒り エレミヤ23:20

【主】の怒りは、その心の御思いを行って成し遂げるまで去ることはない。終わりの日\*に、あなたがたはそれを明らかに悟る。

\*世の終わりの大艱難時代。

➡空前絶後の災厄は、預言された通り、最後まで完全に実行される。



## 御告げ

## 悪との親交 エレミヤ23:21～22

「わたしはこのような預言者たちを遣わさなかったのに、彼らは走り続ける。わたしは彼らに語らなかつたのに、彼らは預言している。

わたしとの親しい交わり\*に加わっていたなら、彼らは、わたしの民にわたしのことばを聞かせ、民をその悪い生き方から、その悪しき行いから立ち返らせたであろうに。」

\*主の求めは顔と顔をあわせた親しい交わり

■イスラエルが親しく交わったのは、偶像



## 御告げ

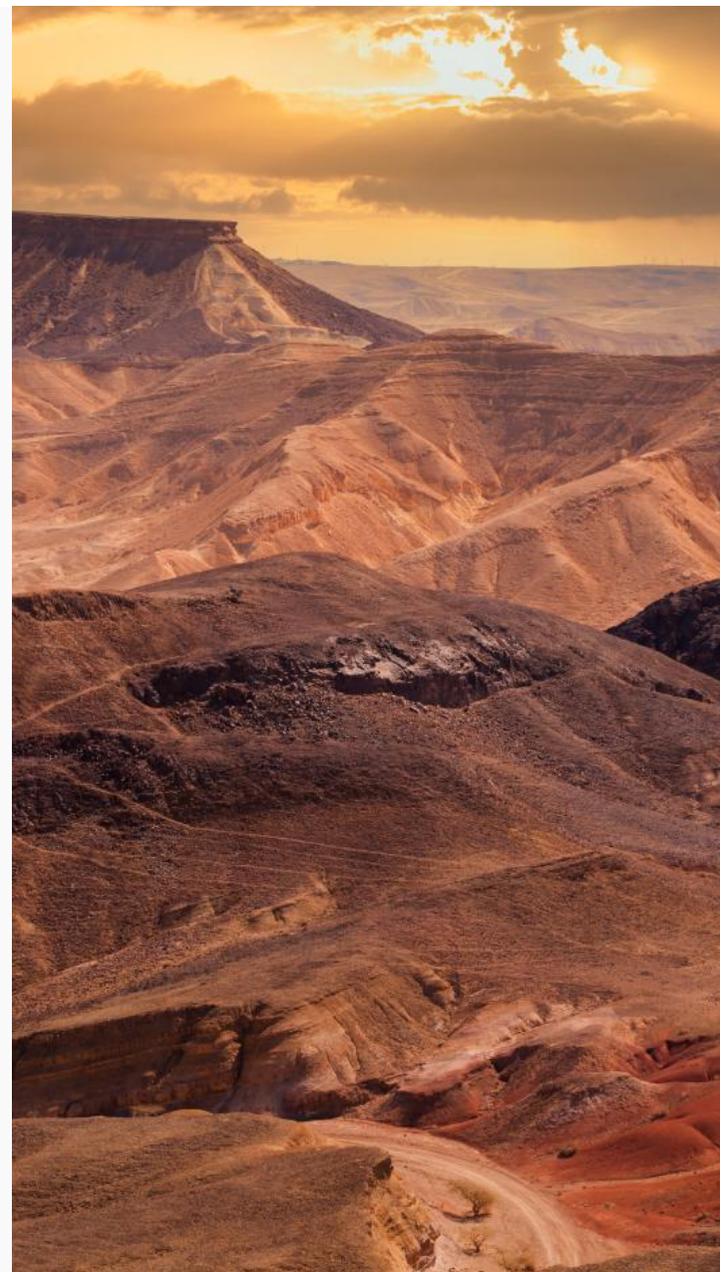
## 人の愚かさ エレミヤ23:23～24

わたしは近くにいれば、神なのか。— **【主】**  
**のことは⑧**—遠くにいれば、神ではないのか。

人が隠れ場に身を隠したら、わたしはその人  
を見ることができないのか。— **【主】** **のことは**  
**⑨**—天にも地にも、わたしは満ちている\*では  
ないか。— **【主】** **のことは⑩**。

■ 罪人は、身近な偶像を自らの神とし、  
愚かにも、神から身を隠せると思い込む。

\*神は、あらゆる所に遍在している。



## 御告げ

## 偽預言者の夢 エレ23:25～26

わたしの名によって偽りを預言する預言者たちが、『私は夢を見た。夢を見た』と言うのを、わたしは聞いた。

いつまで、あの預言者たちの心に偽りの預言があるのか。心の偽りごとを語る預言者たちのうちに。

■ 偽りに偽りを重ねていく、偽預言者たち。



## 御告げ

## 麦か藁か エレミヤ23:27~28

彼らの先祖がバアルのゆえにわたしの名を忘れたように、彼らはそれぞれ自分たちの夢を述べ、わたしの民にわたしの名を忘れさせようと、企んでいるのか。

夢を見た預言者は夢を語るがよい。しかし、わたしのことばを受けた者は、わたしのことばを忠実に語らなければならない。麦は藁と何の関わりがあるだろうか\*。 — **【主】のことば⑪**

\*麦の実と藁の行き先は全く違う。

命をつなぐ食糧か？ 捨てられる藁か？



## 御告げ 火のような言葉 23:29~30

わたしのことばは火のようではないか—  
【主】のことば⑫—。岩を砕く金槌のようではないか。

それゆえ、見よ—【主】のことば⑬—。  
わたしは、互いにわたしのことばを盗み  
合う預言者たちの敵となる。

■ 主の裁きの言葉は、  
岩をも砕く金槌のよう。

神の裁きの鉄槌が下される



## 御告げ

## 主が敵となる エレ23:31～32

見よ。わたしは——【主】のことば<sup>⑭</sup>——自分の舌を操って、これがみことばだ、と言う預言者たちの敵となる。

見よ。わたしは偽りの夢を預言する者たちの敵となる——【主】のことば<sup>⑮</sup>——。彼らは、偽りと自慢話をわたしの民に語って迷わせている。わたしは彼らを遣わさず、彼らに命じもしなかった。彼らは、この民にとって何の役にも立たない——【主】のことば<sup>⑯</sup>。

■ 神を敵にまわした偽預言者のむなしさ。



## 御告げ 拒絶者への主の拒絶 エレ23:33

この民、あるいは預言者か祭司が、  
『【主】の宣告とは何か』とあなたに尋ねたら、あなたは彼らに言え。『あなたが、宣告とは何かと言うので、わたしはあなたがたを捨てる——【主】のことば<sup>⑬</sup>。』

■ 歴代の預言者から告げられてきた主の宣告

➔ 主の恵みを拒絶し通した者から、  
主が恵みを取り去られる時は来る



## 御告げ

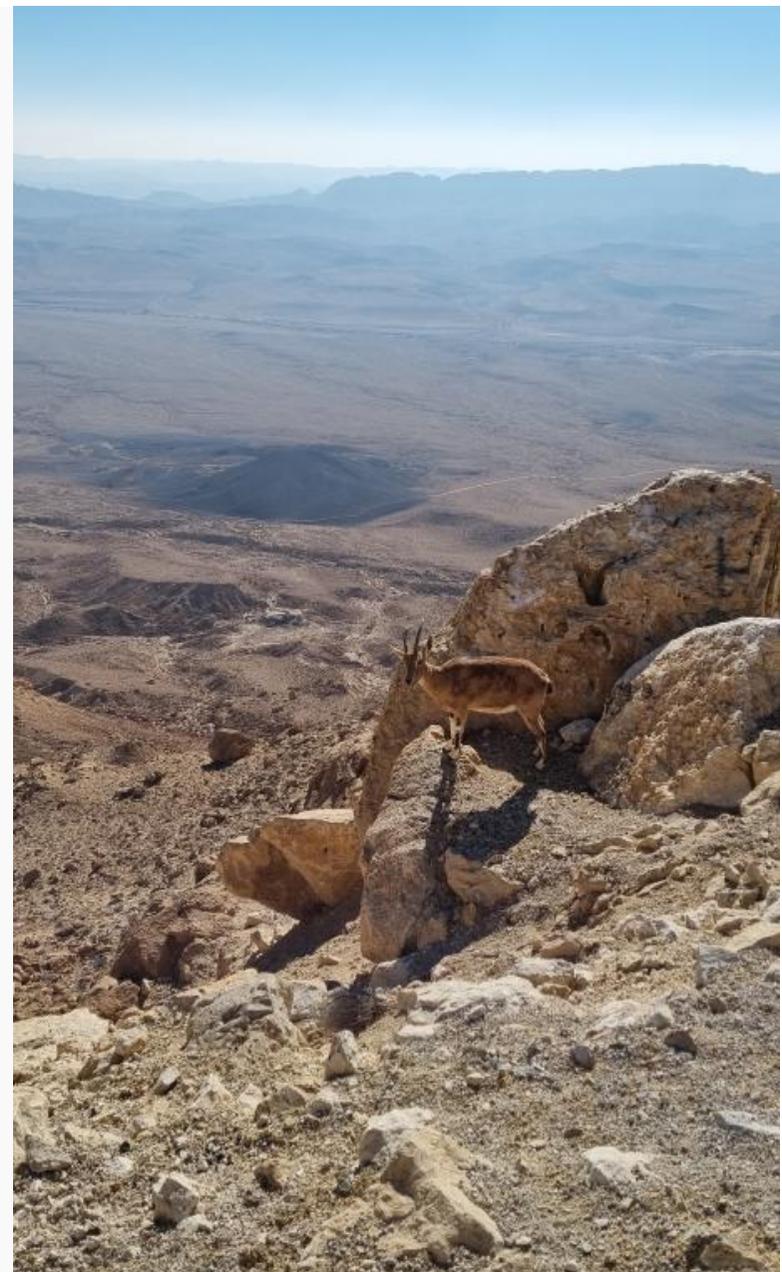
## 主の罰 エレミヤ23:34～35

「預言者でも、祭司でも、民でも、【主】の宣告\*と言う者があれば、わたしはその者とその家を罰する。」

\*ヤハウエ・マッサ(重荷、神託)

➡実際は、人が負わせた重荷

■神を騙る者、偽りに従う者は罰せられる。



## 御告げ

## 宣告の実態 エレミヤ23:35～36

あなたがたは互いに「【主】はどう答えられたか。【主】はどう語られたか」と言うがよい。

しかし、【主】の宣告ということを二度と述べてはならない。その宣告自体がそれを言う人自身のことばであり、あなたがたが、生ける神、万軍の【主】、私たちの神のことばを曲げることになるからだ。

■ 求められるのは、主に聞き、従うこと。

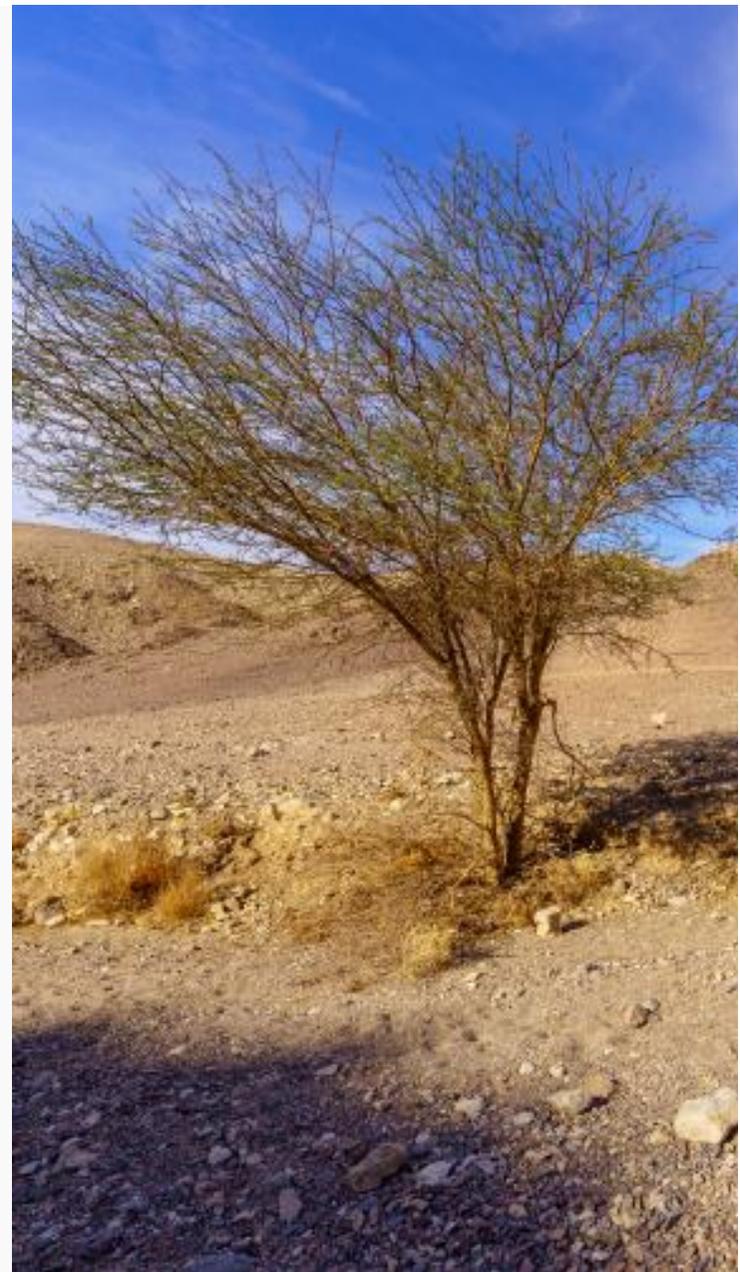
➔ 自分の思いが第一になっていないか



## 御告げ 偽預言者への宣告 23:37~38

「あの預言者たちにこう言え。『【主】はどう答えられたか。【主】はどう語られたか。

もし、あなたがたが【主】の宣告と言うなら、それに対して、【主】はこう言われる。わたしはあなたがたに、【主】の宣告と言うなと言いつつ送ったのに、あなたがたは【主】の宣告というこのことばを使っている。」

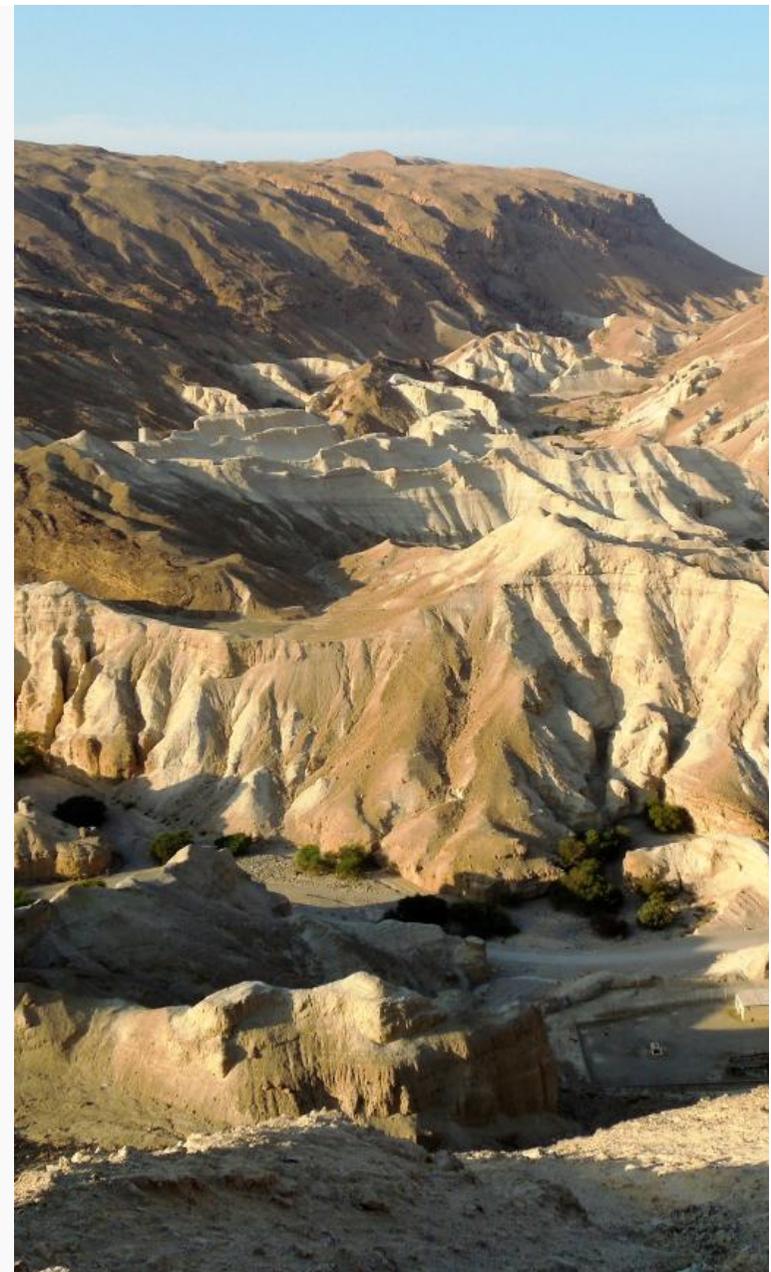


## 御告げ 偽り者の末路 エレ23:39~40

それゆえ、見よ、わたしはあなたがたを全く忘れ、あなたがたとあなたがたの先祖に与えたこの都を、あなたがたとともに、わたしの前から捨てて、永遠の恥辱\*、忘れられることのない永遠の侮辱をあなたがたに与える』」

\*“恥とする” ➡ 神に見捨てられること

永遠に神に見捨てられる ➡ 永遠の滅び





### Ⅲ. まとめと適用

義と愛の主のことばを受け取ろう

ユダの荒野

## 真実が知らされるということ

- 偽牧者、偽預言者が断罪される中で与えられた、「ダビデの若枝」なるメシアの預言。
- メシアは、イスラエルを悔い改めに導き、離散の地から帰還させ、永遠の王国に住まわせられる。
- 光として与えられたメシア預言は、闇をも際立たせる。
  - ➔ 偽預言者の罪と厳しい裁きが告げられていく

## 神を騙る偽預言の罪の恐ろしさ

- 神の警告を伝えるエレミヤは、酔ったようにわなないた。
- 偽預言者の犯した罪はあまりに重く、  
すさまじい神の怒りの前には、ひたすら恐怖しかない。  
厳正な罪の刈り取りとしての裁きは眼前に迫っている。
- 神の宣告を拒絶し、偽りの希望を語る者には、  
これ以上ない、厳しい裁きが待ち受けている。

## 偽りの宣告に頼った者への厳しい裁き

- 神の怒りは、終わりの時に最も激しく燃えさかる。  
主のご計画が成し遂げられるまで、和らぐことはない。
- 空想で、神の怒りを紛らわそうとする、人のむなしさ。  
神の目を逃れられる場所など、どこにもない。  
私たちの心の奥底までも、主がご存じだ。
- 主を拒み通した者から、主は永遠に恵みを取り去られる。

## 「恐れ」も 「畏れ」も

■ 偽預言者への神の怒りのすさまじさに、エレミヤは、酔ったように恐怖した。

■ きよい神の前で、人は己の罪を否が応でも知らされる。歴代の聖徒たちすら、「死んでしまおう」と恐れひれ伏し、「離れてください」と懇願するしかなかった。

■ 罪人に、純粹な畏怖の念など持ちようがない。

主に相對する時、私たちの内には、**恐れ**と**畏れ**がある。

## 神の愛と裁きは完全

例) 森田長老夫妻の証し 突然失った父と妹  
魂の遍歴と、最後にたどり着いた確信

例) 月下美紀の証し 最後まで明確な悔い改めはなし  
不思議と与えられている平安

千年王国の平安

- 平安の源は、神の愛と義、慈しみと厳しさ。  
神の完全さを受け入れる時、何にも代えがたい平安が。

## ★ そのままに主のことばを受け取ろう ★

- 「主のことば」には、厳しい裁きも救いの約束もある。  
主の慈しみも厳しさも、そのままに受け取ろう。
- 神の義と愛が完全に成し遂げられたのが、主の十字架。  
主イエスの福音を信じる者は、義と愛の神を信じる。
- 罪人として神を恐れ、信仰者として神を畏れよう。  
主イエスは、義と愛の、栄光の王として再臨される。

てん　とう　わたし　つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　かみ　みこ　しゅ  
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。

あがな　わざ　かんぜん　な　すく　しゅ  
贖いのみ業を完全に成し遂げられた、主イエス・キリストは、  
えいこう　おう　ふたた　こ　ぎ　あい　せかい　す　おさ  
栄光の王として再び来られ、義と愛で世界を統べ治められます。

つみ　おそ　かいほう　しゅ　しん　おそ　み  
罪による恐れから解放し、主を信じる畏れで満たしてください。

しゅ　いつく　きび　うち　へいあん　つか  
主の慈しみと厳しさの内に、平安をもって遣わしてください。

しゅ　な　いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」